

ENEOSの「働く環境」



柔軟な働き方

育児休業取得人数

321人

(うち、男性292人・女性29人)

男女を問わず、積極的に育児を取っています。

育児休業後復職率

100%

子どもが2歳になるまで育児を取ることができるので、ワーキングママが増えています。

短時間勤務・在宅勤務

妊娠・育児や介護に、男女社員が活用しています。日勤者はフレックスタイム制も活用できます。



休みの取りやすさ

有休取得率

96%

会社として休暇取得を推進中。日勤なら5日間連続、シフト勤務なら6日間連続休暇も取得できます。

結婚・出産・育児休業

結婚特別休暇、産前産後休暇、育児休業、子の看護休暇が利用できます。



研修制度

資格取得支援

高圧ガス、危険物、ボイラーなど、必要な資格取得の費用を会社が負担します。

各種技能研修

運転技能向上研修、シミュレーター研修など、社内研修が充実しています。

危険体感研修

製油所・製造所で働く上での、危険に対する感性を高める研修もあります。

定修の教育派遣制度

入社5年目までに、配属先以外の定修(→P10)を経験していただきます。



ダイバーシティの推進

女性運転員交流会

製造現場における女性活躍推進の一例として、運転員として働く女性社員の交流会を開催。運転部門ならではのやりがい・課題や女性ならではのキャリア形成などをテーマに、活発なグループディスカッションを展開。

作業服の見直し

女性社員の意見を取り入れ、作業服の改良を実施。動きやすい立体裁断構造やデザインを重視した立ち襟、マタニティ対応としてお腹部分に伸縮性のある生地や、お腹部分を覆える長さの上着を採用しています。

多様な社員が活躍できる環境を整備

当社の女性活躍推進に対する各種表彰

当社の女性活躍推進の取り組みが評価され、令和2年10月、女性活躍推進法に基づく基準適合事業主として、厚生労働大臣より「えるぼし」の最高位認定(3段階目)を受けました。



PRIDE ゴールド認定を取得

「PRIDE指標」は、任意団体「work with Pride」が策定する、企業・団体などにおけるLGBTQなどの性的マイノリティへの取り組みに対する評価指標です。当社は、性的マイノリティのインクルージョンに関する取り組みが評価され、2020年度から5年度連続、最高評価「ゴールド」を受賞しています。

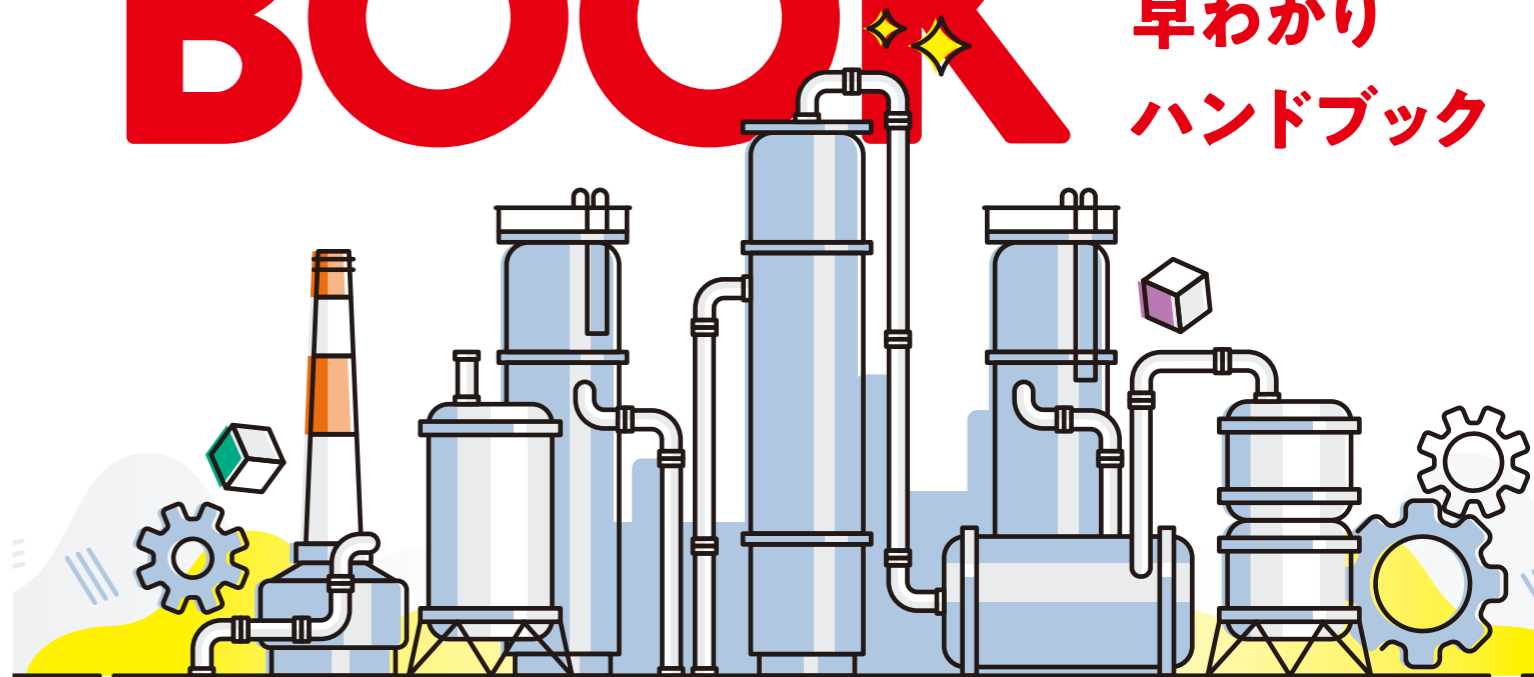
出典:work with Pride PRIDE指標



ENEOS HAYA WAKARI HAND BOOK

高専生
・
高校生
のための!

ENEOS
早わかり
ハンドブック



まずは押さえておきたい

ENEOSキホンのキ

ENEOSはガソリンスタンドの会社って思っていますか？

実は、電気やガス、再生可能エネルギーもあつかう、
エネルギー業界のリーディングカンパニーなんです。

日本全国で、多彩な事業を手掛けています。

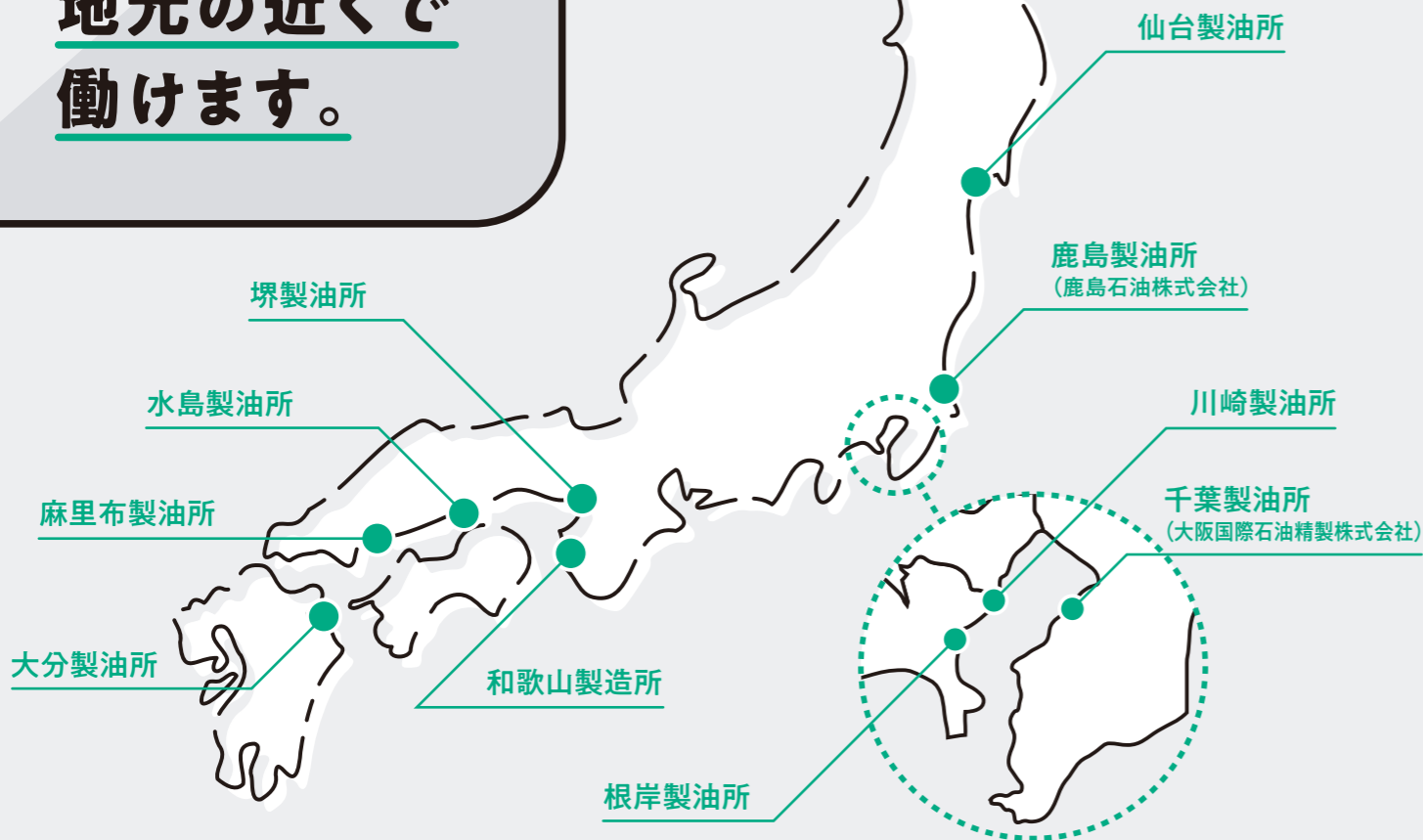
POINT

02

国内10拠点。
地元の近くで働けます。

国内の石油・
石油化学製品の
生産・製造拠点

10拠点



POINT

01

国内最大、
エネルギー業界の
リーディングカンパニー
です。



国内燃料油*販売シェア

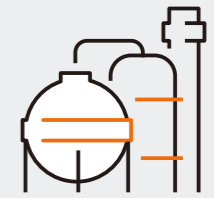
国内第1位 約50%

* ガソリン・灯油・軽油・A重油合計



系列給油所数

国内第1位 11,000カ所超



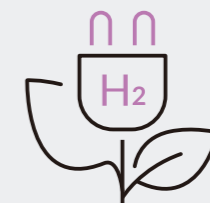
原油処理能力

国内第1位 164万バレル/日

POINT

03

水素、素材など、
多彩な事業を
手掛けています。



国内水素ステーション

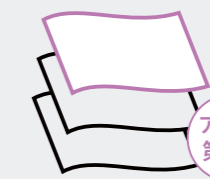
35カ所



パラキシレン供給能力
(外販量ベース)

アジア
第1位

301万トン/日



プロピレン供給能力
(外販量ベース)

アジア
第1位

159万トン/日

運転員編

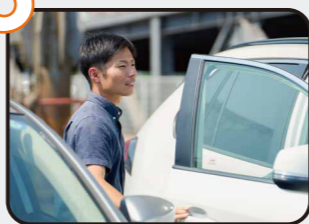
A勤務(昼勤)の場合

紹介してくれる社員
R.T. 水島製油所 運転員
※所属は2023年8月取材時点

運転員は製油所の担当エリアを監視・点検し、装置稼働状態を計器や音、熱などでチェックし、安全・正常な運転を管理する仕事。A勤務(昼勤)とB勤務(夜勤)のシフト制で働いています。

出社(車通勤) / 業務申し送り

製油所に着いたら、まずは作業服に着替えて統合計器室へ。そこで、B勤務の運転員から各装置の状況を細かく引き継ぎします。



7:45

アクティブ体操 / 朝ミーティング

朝の始まりは準備体操から。1日ケガなく過ごすための大切な時間です。その後、今日の工事予定や作業を全体ミーティングで確認。最後に全員で指差し呼称をしてミーティングを締めくくります。



8:00

8:30

作業開始

運転員の仕事は、4班2交替制。ボード担当と現場担当に分かれて業務を実施。私はボード担当として、膨大な装置の運転データをリアルタイムで集めて制御し、その運転調整や工事関連の電話対応などを行っています。また、処理の変更がある日には他部署への影響もあるので、互いの報連相も欠かせません。



11:30

昼食

社員食堂で昼食。破格の値段で美味しいご飯を食べられます。



昼ミーティング / 午後作業開始

午前中に行った作業の状況と、午後の作業内容を全体ミーティングで確認。午後も午前中と同様、作業に従事します。

※午後の写真は現場担当を想定した写真

19:00



申し送り準備

B勤務への引き継ぎのために、その日行った作業を資料にまとめます。

業務引き継ぎ

装置ごとに、B勤務担当者に作業結果を報告します。



19:45

業務終了

打刻カードをかざし、本日の業務は終了です。



20:00

B勤務(夜勤)に続く

運転員編

B勤務(夜勤)の場合

B勤務(夜勤)は、装置を24時間止めることのできない製油所ならではの体制です。A勤務(昼勤)と同様の監視・点検を、夜間も変わらず行います。

19:45



出社／業務申し送り

昨日とは逆に、A勤務の運転員から引き継ぎを受けます。その後のミーティングも朝と変わらず行われます。

20:30

作業開始

B勤務では基本的に大がかりな作業は行いません。逆に、危険予知訓練や装置の学習に多くの時間が充てられます。ただし、装置の不具合はいつ起きるか分からないので、もちろん監視も怠りません。



7:00



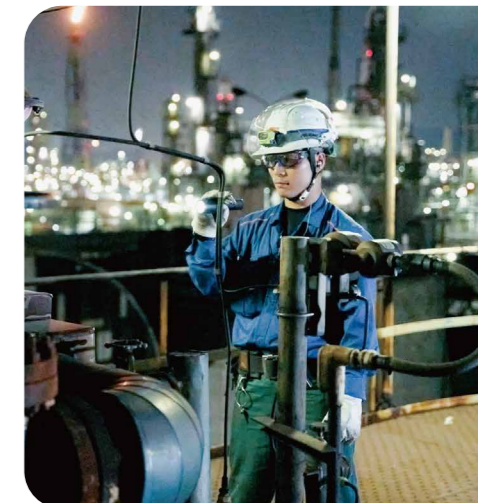
申し送り準備／業務引き継ぎ

夜間の作業終了後、A勤務への引き継ぎを行います。申し送りは装置の現状を伝えるための大切なコミュニケーションの場でもありますので、できる限り細部まで伝えることを心がけています。

8:00

業務終了

勤務を終えて終了。お疲れさまでした!



運転員のPOINT

仕事を始めた当初はわからないことだらけでした。それでも、日々の業務を通じていろいろ学んでいくにつれて、それまで点だった知識が線でつながっていく感じで、徐々に仕事の全体像が見えてくるようになりました。知識が増えると、それを応用してほかの作業にも対応できるようになってくるので、自分のことながら「成長しているな〜」と実感できます。また、定修(P10参照)など製油所ならではの大きなイベントもあり、それをやり切った時にはすごく達成感がありますね。現在、

私はボード担当としてのより高いスキルを身につけるために、常日頃からKY活動(危険予知活動)を実施して、どんな不具合でも柔軟に対応できるように、スキルアップに励んでいるところです。あと、仕事を始めた時は交替勤務だったので、慣れるまではけっこう大変でした。でも、慣れてしまえばそれほど苦ではないですし、休日も多く、平日が休みになることが多いので、人混みを避けてお出かけできるというメリットもありますよ。

R.T.

水島製油所 製油1グループ 間脱化成係
電気科卒 / 2017年度入社

※所属は2023年8月取材時点



現場担当

現場を巡回し、計器やポンプが正常に稼働しているか管理・確認



ボード担当

装置の運転データをリアルタイムで集め、運転状況の確認や処理調整を実施

メカニカルエンジニア編

メカニカルエンジニアは製油所のタワーやタンク、配管などの補修を担当。他部署から舞い込む補修依頼に対して計画・検討を行い、協力会社に指示を出して工事を管理します。また、4年に1度の大規模な定期修理工事(定修、P10参照)では、その計画及び実行も担当します。



メカニカルエンジニアのPOINT

この仕事のやりがいは、「自分の業務が日本のエネルギーの安定供給を支えているんだ」と実感できる点。生活を支えている車の燃料を製造する、製油所の保全に携わっているのは非常に誇らしいです。工事計画に取り組む際は、規模が大きいと関係者も増え、検討や調整に苦労することもあります。ですがその分、うまくいった時に大勢の関係者から感謝の言葉をいただけるのは、何ものにも代え難い喜びがありますね。

T.F. | 水島製油所 定修計画グループ 定修計画1チーム
機械工学科卒 / 2019年度入社

※所属は2023年8月取材時点

8:00 出社(車通勤) / グループミーティング

自宅を7:00に出発。朝は渋滞していることが多いので、少し早めに出ます。作業服に着替えたら、毎朝の定例の定修計画グループ全員によるミーティング。水島製油所にはA・B工場があり、グループ内に3チームあるため、それぞれがその日に行う会議や特記事項について共有します。



16:30 1日の振り返り / 業務終了

自分だけでなく、OJT担当の新入社員も含めて1日の振り返りを行います。今日はどんな仕事をやった、新しく発生した仕事は何か。期限の近い仕事は何で、その進捗状況はどうか。それをふまえて明日はどの業務を行うかを考えて、その日1日を締めます。同様に新入社員にも何を学んだかを振り返ってもらい、その際に出てきた分からないことや相談に応じます。この日は17:00に退勤。退勤後は同僚・同期・地元の友人と飲みに行ったり、ドライブに行ったりしています。



8:30



モーニングミーティング

グループミーティングとは別に、製油所全体のミーティングも毎朝実施。当日の操業情報や工事情報、特記事項について、製油所全体の情報共有が行われる重要な会議です。

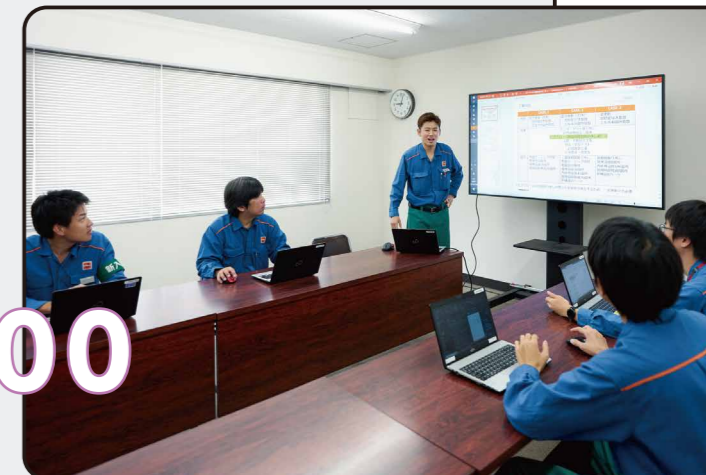
15:00 工事計画の報連相

2025年に実施する工事の内容について打ち合わせ。資料や現場を確認した内容を基に、工事方法やコストのパターンを算出して上司に報告・相談します。



13:00 チームミーティング / 現場確認

週に1回、その週にやらなければならないことや特記事項をチームで共有するミーティングを実施。その後、実際の工事予定現場に行って確認を行います。資料や図面だけでは分かりにくいところもあるため、現物の確認は非常に重要。普段から上司に教わっている五ゲン主義(現場・現物・現実・原理・原則)を、肝に銘じて業務に取り組んでいます。



9:00

新入社員教育

私は今年度の新入社員のOJTも担当しています。新入社員がいち早く成長してくれるよう、コミュニケーションを密に取りながら、なるべく本人の自発的な考えを促すとともに、その考えを大事にする教育を心がけています。

9:30 資料まとめ / 協力会社との打ち合わせ

近日行われる予算審議会議の資料の作成・確認。対象となる機器の図面を見たり、過去の工事記録を確認したりしながら、施工方法を検討します。その後、まとめた資料を基に、工事を行う協力会社の方と施工方法や懸念点について打ち合わせ。抜けのないように工事計画を詰めていきます。



12:00

12:00



昼食

昼食は毎日、製油所内の食堂で。お手ごろ価格でお腹いっぱいになり大満足。

4年に1度の一大イベント！ 定修レポート



定期修理(定修)は、24時間365日稼働し続けているプラントを完全停止させ、機器のメンテナンスや新たな装置の導入等を行う大規模工事のこと。およそ3カ月の期間、ピーク時には1日に2,000人以上もの作業員が製油所に入り、作業を行います。物資の調達から施工方法の決定、安全・コストの管理・調整など、多くの業務が伴います。

はじめての 定修体験談

入社2年目の秋頃にはじめての定修を経験。定修前後のシャットダウン、スタートアップ操作も含め、必死に喰らいついていて、気付けば終わっていた感じでした(苦笑)。定修を経験して学んだのは、準備をしっかりすることが何より大切ということ。定修中は多くの作業が発生するので、あらかじめ先輩に聞いておくなど、準備をしておくことで慌てず作業に臨めます。定修は確かに大変ですがその間は全員が日勤になるので、普段あまり一緒に作業しない人と仕事をしたり、みんなで他愛もないおしゃべりをしたりして、楽しい部分もありますよ。

R.T. 運転員

はじめての定修は入社2年目の3月でした。主担当だったにも関わらず、知識不足で処理がぜんぜん追いつかず、周りにフォローしてもらいどおし。実力のなさを痛感して、非常に悔しい思いをしました。でも、その経験があったからこそ、成長した今の自分があると思います。それまでは目の前の業務に全力投球でしたが、少し視野を広げて原理・原則を学ぶことで現場対応力も身につきました。今計画中の次の定修は、前回のリベンジマッチ。主要装置の主担当として少しでも精度の高い計画を行って、定修後には笑って話せるような経験にしたいです。

T.F. メカニカルエンジニア

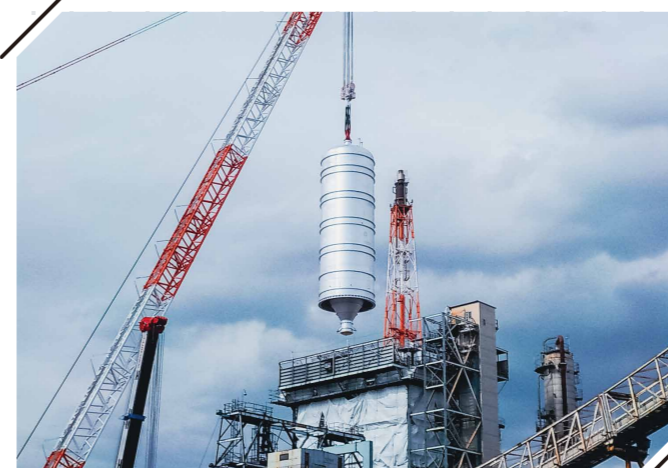


清掃・修理・点検を徹底的に

プラントが稼働している時にはできない設備内部の点検作業などを行っていきます。目視での点検でサビや破損箇所などを確認し、劣化度の判定を行った上で、修繕・交換などの作業を手配。作業後は稼働中に溜まってしまった汚れなどの洗浄、稼働チェックなどを実施。こうした作業には、多くの職人さんの専門スキルが必要不可欠であり、それら全体作業の進行管理をできるチカラが求められます。

仮設現場事務所を設営

全体工程が計画されるのは、なんと実施の約2年前から。関係各所と仕様書や契約の締結、資材の調達などを進めます。定修が始まると、構内に仮設現場事務所を設営。また、プラントや設備の修理や点検は高所作業が多いので、現場を組んで安全・効率的な作業ができるように準備します。



修繕だけでなく設備改造も

プラントを停めて行う定修は、修理や点検だけではなく、設備の改造などを行うチャンスでもあります。大型の設備を改造する際は、クレーンによる積み込み作業なども発生します。さまざまな設備が配置されている構内に大型の設備やクレーンを入れる際には、どのような導線で作業を行えば効率的で安全に作業ができるかなど、製油所の全体像を頭に入れて計画することが肝心です。

作業は夕暮れまで続く

多くの工程をスケジュールどおりに進行するため、日が沈んだ後まで作業を行うことも。1日の終わりには社内外の関係者とミーティングを行い、その日の作業の進捗や、次の日の作業の確認などを実施します。はじめて定修に参加したENEOS社員は、右も左も分からず困惑する人がほとんど。しかしこの一大イベントを経験することで、構内の様子や機器の詳細が理解できるようになり、飛躍的に成長する機会となっています。

